

飯田市子ども家庭応援センターの運営状況について

子育て支援課子ども家庭応援センター

飯田市子ども家庭応援センター『ゆいきっず』が平成27年7月1日に開所し2年間に経過しました。この間の運営状況を報告します。

飯田市子ども家庭応援センターの役割

①市民協働による“子育て応援地域づくり”の要

多くの親子が寄り集まる場（ゆいきっず広場、ゆいきっず講座等）とし、市民が主体的に関わる場を創りながら子育て家庭を応援する地域づくりを推進していきます。

②発達相談・子育て相談の総合的窓口及び関係機関の包括的役割

専門職員を配置し、発達相談や虐待予防の継続相談をはじめ幅広く子育ての悩みに気軽に応じられる窓口となり、関係機関と連携して適切な支援につなげていきます。

1 「ゆいきっず広場」

(1) ゆいきっず広場登録数

プレオープン以来、子どもの登録者は1944人となった(H27.6.3～H29.06.30)。登録者の約8割が市内在住の0～2歳代の児童である。

ゆいきっず広場登録者 地域別

	市内	下伊那	県他地域	県外	合計
人(%)	1505(77%)	221(11%)	57(3%)	161(8%)	1944

ゆいきっず広場登録者 登録時年齢

	0-1歳	2-3歳	4-6歳	合計
人(%)	1202(62%)	533(27%)	205(11%)	1944

(2) ゆいきっず広場利用状況

ゆいきっず広場はH27年7月1日オープンからH29年6月末までに623回開催し、合計8627組の親子(1日平均14.1組)のご利用があった。四半期ごとに親子の利用組数(1日平均)を比較した所、何れにおいても同一時期の前年度四半期を上回る利用増が認められた。利用状況の詳細な分析からはリピート利用の増加が認められた。妊娠期～0歳代の保護者に対しても、各々の親子にとって適時に広場を新規利用していただける様に効果的なタイミングでゆいきっず広場をPRすることが重要と考えられる。

ゆいきっず広場 1日平均利用親子組数(平均)

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
H27年度		14.3	11.0	12.4
H28年度	12.8	17.3	14.2	16.4
H29年度	14.1			

(3) ひろば利用者アンケート結果

ゆいきっず広場利用者を対象に満足度アンケートを4件法(満足-概ね満足-やや不満-不満)で調査した(H29.2月調べN=58)。その結果、全ての質問項目に対して概ね高い評価を得た。さらにアンケートの自由記述を分析した所、今後の検討点として次の2つが抽出された。1点目は、子育て情報の提供について(質問項目⑤)、無回答が散見された事である(全体の7%)。現状、子育て情報サロンには地域の子育て・イベント情報、子どもの健康・保健情報及び、母親の就職支援などに関

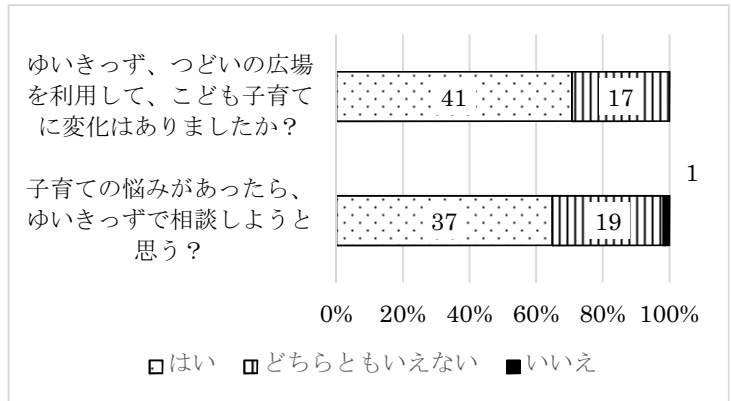
概ね満足～満足と評価した割合(%)

①開設の時間/曜日	100%
②衛生面・雰囲気	98%
③遊具・玩具	100%
④スタッフ対応	100%
⑤子育て情報について	* 98%
⑥ファミリースペース	* 91%
⑦全体的な満足度	98%

する情報が掲示或いはパンフレットにて提供されている。今後はさらに利用者ニーズの把握に努め、情報提供の在り方も含めてより良い情報提供となるように努める。

2 点目は、ファミリースペース(市民サロンの一角に設けられた食事可能な小上がり)について(質問項目⑥)、勉強中の学生と親子の食事利用とが重なるケースがある。現状、親子の優先利用デスクを設けると共に、譲り合っでご利用いただける様に張り紙などで呼びかけている所である。市民サロンの利用者同士が互いに気持ちよく利用できる様に、見守り・実態把握に努めていきたい。

保護者の子育てに関する意識を 2 項目(「ゆいきっず広場、つどいの広場を利用してこども子育てに変化はありましたか?」「子育ての悩みがあったら、ゆいきっずで相談しようと思いませんか?」)で調査した結果(右図参照)、多くの保護者が地域の子育て広場を利用することで、こども・子育ての変化を肯定的に実感していることが明らかになった。回答例として「子どもを連れて気軽に外に出られるようになり子育てが楽しくなった/気軽に相談できるスタッフがいる/友達と接し方が少しわかるようになった」が挙げられる。適切な時期に親子が自宅以外でも安心して過ごせる場があることの重要性が改めて確認された。



2 「ゆいきっず講座」

「ゆいきっず講座」は親子の発達ニーズと時節に即した内容を配慮して企画実施している。H29 年度については実施済みの 8 講座および、今後開催予定の 12 講座を併せた全 20 講座を予定している。ゆいきっず講座のテーマは「母親向けのリフレッシュ体験」、「保護者向け子育て情報提供」、「親子交流・コンサート」、「父親向け週末講座」の以上の4カテゴリーに集約されてきた。さらに本年度はこれらに加えて、祖父母向け「孫育て&パパママ応援」講座の開催を予定している。

対象と活動	内容 (H29 年度 実施済み 8 講座)
母親向け リフレッシュ体験	参加者同士でハンドマッサージ&ストレス解消のはなし
保護者向け 情報提供	助産師さん「断乳卒乳の話」/歯科衛生士さん「乳幼児期の歯のはなし」
親子向け 交流活動	手作りおもちゃ/ふれあい遊び/童歌遊び/ベビーマッサージ
親子向け コンサート	フィガロさん「春のコンサート」
今年度 実施を予定している 12 講座より 新企画を抜粋	
今年度 実施予定	親御さん同士で情報交換 子育てサロン『ゆい talk』
	父親向け週末講座:理学療法士さん『家庭で行える親子体操、発達に合わせた遊び』
	祖父母向け 「孫育て&パパママ応援」講座

3 ゆいきっず窓口相談対応の状況 (H27 年 4 月~H29 年 3 月末)

ゆいきっずの相談窓口については、『18 歳未満の子どもを対象とした幅広い子育て相談に気軽に応じられる窓口として専門職が相談にあたり、親子に寄り添います。「親御さんなら誰も、こども・子育ての悩みは尽きないもの!」もしも、ご心配がありましたら、どんなことでも気軽に声をかけください』と PR しつつ、家庭との信頼関係づくりおよび、相談ニーズの適切な掘り起しを図っている。併せて、関係諸機関との連携のもと、適切な社会資源へとつながるよう子ども子育て相談対応に当たっている。ゆいきっず開所年度(H27 年度)および次年度(H28 年度)の窓口相談件数および相談対象年代の構成(%)を次頁上段の表に示した。

	相談件数			相談対象年代			
	新規相談件数	継続相談件数	合計	未就園児	保育・こども園	小学生	中学以降
H27年度	260	166	426	39%	27%	29%	5%
H28年度	194	417	616	35%	27%	27%	11%

窓口相談件数の合計は初年度(H27年度)に比して次年度(H28年度)で顕著な増加が認められた。併せて、継続的な相談支援を要するケースの増加および、中学生以降の相談が占める割合の増加傾向が認められた。尚、相談者については時期によらずその大半が母親であり、その殆どは“こども・子育て相談”であった(母親 84%、父親・両親 4%、その他12%)。

4 発達支援に係る業務

発達支援を必要とするこどもの数は児童期を通じて概ね10%存在しており、この事は全国的な傾向であるのと同様に当市においても確認されている。もはや発達支援は特別珍しいことではない。そして、早期からの発達支援ニーズの発見、保護者への相談対応と支援、およびそれらに当たる複数の相談支援機関間の連携体制整備が発達障害者支援法には市町村の責務として定められている。当市においては“飯田市発達支援推進会議”即ち、庁内関係部局(保健課・福祉課・子育て支援課・教育委員会)と市立病院等から構成される協議会が中心となり支援体制整備に当たっており、当センターは事務局として協議会の運営を行っている。さらには、市内関係各所にゆいきつず専門職が出向いて発達相談および、支援者に向けたコンサルトを実施している。具体的には以下のとおりである。

- ・保健課 乳幼児健診(2歳児相談・3歳児健診)への心理専門職派遣
- ・保健課 「遊びの教室」への心理専門職派遣
- ・ゆいきつず 入園前発達支援学級の運営
- ・保育所・認定こども園 市内全園を対象にゆいきつず専門職が巡回支援
- ・保育所・認定こども園 市内全園を対象に保育指導計画(CLMと個別の指導計画)の啓発および、研修提供
- ・小学校 保護者向け子育て講演会、教員向け発達支援研修会の講師派遣
- ・飯田市教育委員会 諮問機関としての「飯田市就学相談委員会」の運営 等…

5 児童虐待防止に係る相談対応件数

当センターは、児童福祉法第25条に基づく「要保護児童対策地域協議会の調整機関」として、虐待通告を受け付け、緊急性の判断などを含む受理会議を開催し、子どもの安全確認など情報収集・調査に基づいて「飯田市子育てネットワーク」による支援の実施およびケース進行管理を行っている。

H28年度に当センターが養護相談として対応した件数は544件である。これ等のケースに対応した家庭訪問・面接・電話相談はのべ1253件、また情報収集・機関連絡などの対応件数は延べ3214件に上った。下表には平成26年度～28年の各年度に当センターが新規受理した虐待相談の件数と内訳を示した。

ゆいきつずでは引き続き、飯田市子育てネットワークの構成機関と共に児童虐待予防と支援対応に当たって参ります。

H26～28年度 新規に受理された虐待相談の虐待種別、主な虐待者、被虐待児の年齢

	総数	相談種別			
		身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	保護の怠慢
H26	123	23	2	55	43
H27	73	18	0	28	27
H28	92	39	2	30	30

主な虐待者					被虐待児の年齢				
実父	実父以外の父	実母	実母以外の母	その他	0～3歳	4～6歳	小学生	中学生	高校生・他
21	8	91	0	3	44	32	33	10	4
18	6	47	2	0	11	32	23	4	3
16	10	68	2	5	28	23	31	8	2

飯田市こども家庭応援センター
 蓑和、熊谷(TEL.0265-22-4511 内線5346)